

## 日本フィルハーモニー交響楽団による区役所ロビーコンサートに ウクライナから避難されたチェロ奏者が出演しました

本日、区と友好提携を締結している日本フィルによる区役所ロビーコンサートに、ウクライナの戦禍を逃れ、区内で避難生活を送っているウクライナ人チェロ奏者のタチアナ・ラヴロワさん、ヤーナ・ラヴロワさん親子が出演し、多くの来場者が見守る中、平和を願って「鳥の歌」などを演奏しました。

また、一般財団法人杉並区交流協会は、ウクライナ避難民の方々の支援や今後の復興に活用するため、「ウクライナ緊急支援寄附金」の受け付けを 11 日から開始し、コンサート会場でも募金も受け付けました。区では今後も、杉並区交流協会と連携・協力しながら、区内のウクライナ避難民の方々を支援していきます。

本日、ウクライナの戦禍を逃れ、区内での避難生活を送っているウクライナ人チェロ奏者のタチアナ・ラヴロワさん、ヤーナ・ラヴロワさん親子が、「区役所ロビーコンサート～細田工務店は、音楽を楽しむひとときを応援します～」に出演しました。

ラヴロワさん親子は、日本での知人を頼って、3月28日に来日し、杉並区に居住を開始しました。その後、区や杉並区交流協会が、今後の生活について相談を受けた際に、演奏の機会を持ちたいとの希望があったことを受け、区と友好提携を締結している日本フィルハーモニー交響楽団に協力依頼をして、今回のコンサートが実現しました。

コンサートの冒頭で、杉並区長の田中良から、「3月末に、ウクライナの方々が避難してきた場合を想定して、相談窓口を一本化した「ワンストップ窓口」を区役所内に設置しました。加えて、先週11日には杉並区交流協会が「ウクライナ緊急支援寄附金」を創設するなど、ウクライナの方々を支援する体制が整いつつあります。今後も関係機関と連携・協力しながら支援してまいります。」と挨拶しました。また、来賓として来場された小田原潔外務副大臣からも国の支援を力強く語られました。

コンサートでは、平和を願って、日本フィル弦楽四重奏団と一緒にカタロニア民謡（カザルス編）「鳥の歌」や親子でのデュオ演奏、アンコールで「ふるさと」が演奏され、来場者から温かい拍手が送られました。

演奏を終えたタチアナさんからは、「チェロを持って避難することができなかったが、このような機会をいただき大切な1日になった。これからも演奏を続けていきたい。」と語りました。



【プロフィール】

タチアナ・ラヴロワさん

ウクライナ国立記念音楽院卒業後、  
1996年から国立歌劇場でチェリストを務める。

ヤーナ・ラヴロワさん

バーゼル音楽院卒業。現在フリーランスのチェロ奏者として活動。  
戦禍を逃れるため、日本の知人を頼って親子で3月28日に来日。



タチアナ・ラヴロワさん



ヤーナ・ラヴロワさん

■ ウクライナ緊急支援寄附金について

杉並区交流協会では、戦禍を逃れて、杉並区へ避難されたウクライナ避難民の方々への支援に活用するため、4月11日（月）から寄附金の受け付けを開始しました。

住居確保、子育て・教育、医療・健康維持、就労や、今後のウクライナ復興支援に活用させていただきます。

寄附金は、区役所1階「コミュかるショップ」前に募金箱を設置しているほか、杉並区交流協会窓口への持ち込み、または口座振込で受け付けています。

【入金方法】

郵便局（ゆうちょ銀行）から：記号 11390 口座番号 01459721

他金融機関から：ゆうちょ銀行 一三八支店（店番 138）普通 口座番号 0145972

口座名義 一般財団法人 杉並区交流協会

ザイ）スギナミックコウリュウキョウカイ

---

【問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課：03-3312-2111 内線3781

（寄附金に関すること）杉並区交流協会：03-5378-8833

総務部広報課：03-3312-2111（代表）